



平成 31 年 3 月 29 日

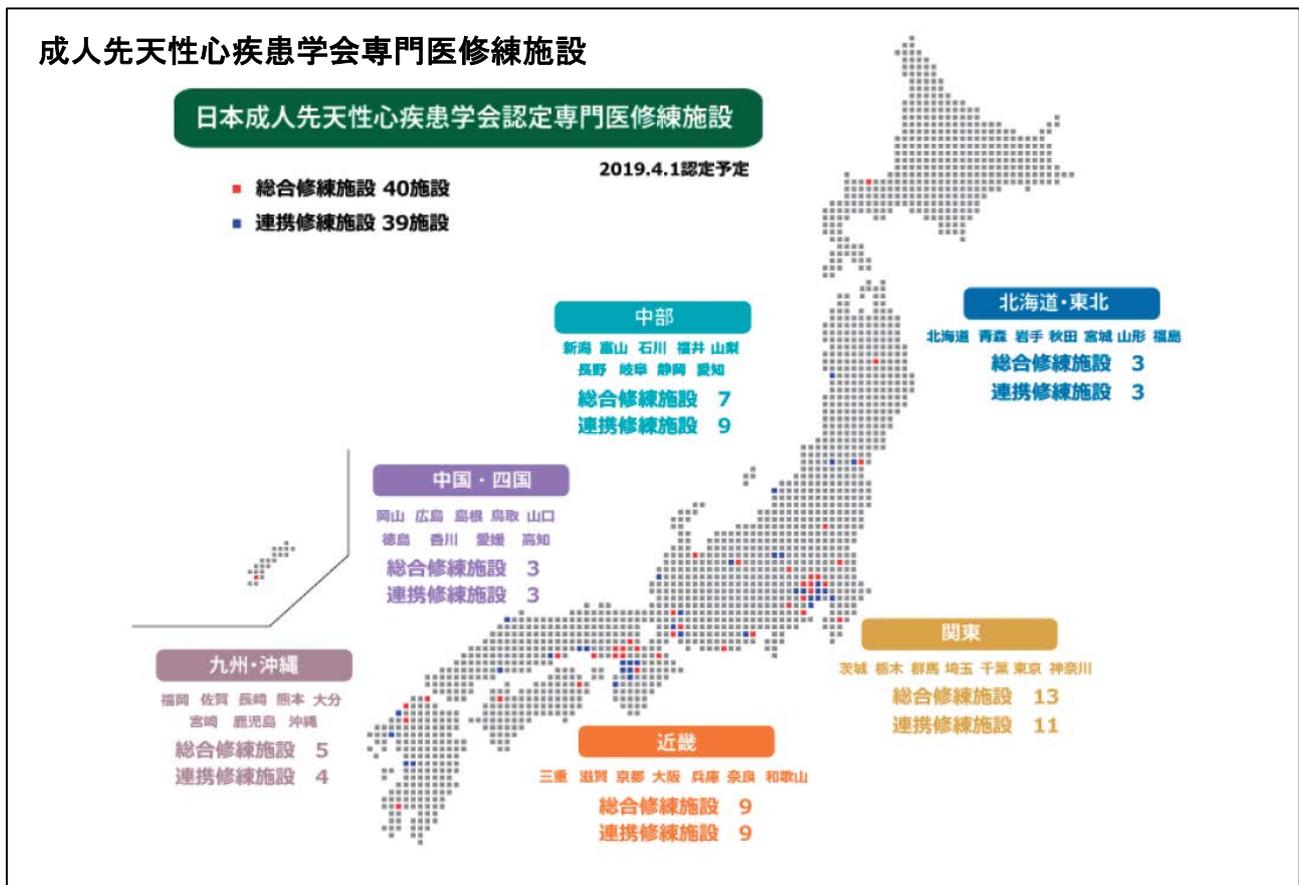
岡山大学病院が中国地方唯一の「成人先天性心疾患総合修練施設」に認定

岡山大学病院はこの度、中国地区唯一の成人先天性心疾患総合修練施設に認定されました。

生まれつきの心臓病（先天性心疾患）に対する医療は目覚ましく発達し、多くの患者さんが大人になる時代になりました。大人になった先天性心疾患の患者さんは既に 50 万人に達しているといわれています。大人になると不整脈、心不全といった新たな問題が出現することがあり、子どもの時期とは違った管理・治療が必要ですが、大人になった先天性心疾患の患者さんを診療できる施設は全国的に限られています。

岡山大学病院は 2014 年から成人先天性心疾患センターを立ち上げ、大人になった先天性心疾患の患者さんの診療にあたってきました。この度の認定を受け、さらなる診療体制の充実が期待されると同時に、今後この領域の専門医を育てる教育施設としての役割を担うことになりました。

<発表内容>



今回認定を受けた施設の一覧です。オレンジの点は総合修練施設、緑の点は連携修練施設です。全国に広く診療体制を確立するために幅広く認定されましたが、岡山大学病院は中でもトップレベルの診療実績をあげています。



PRESS RELEASE

大人になった先天性心疾患の患者さんの診療には小児科から循環器内科への移行だけではなく、多くの専門分野が協力して診療にあたる必要があります。女性の患者さんの妊娠・出産の問題には産婦人科の協力が大切ですし、大人になって肝臓や腎臓の問題が起こってくることもあります。虫歯や歯周病の管理も心臓への感染を防ぐために重要です。また、大人になって再手術が必要となることもあります。岡山大学病院成人先天性心疾患センターでは医師・看護師を含め多くのスタッフでこれらの問題に対応しており、その活動は全国でトップクラスです。今後、専門医を育成する活動にも積極的に貢献したいと考えています。



<お問い合わせ>

岡山大学病院 成人先天性心疾患センター
副センター長 赤木 禎治
(電話番号) 086-235-7351 [循環器内科医局]
(メール) t-akagi@cc.okayama-u.ac.jp



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を支援しています。